

令和7年度 市川町 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：2名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・認知症啓発
 - ・認知症個別相談対応
 - ・認知症高齢者等の見守り・SOSネットワーク構築
 - ・認知症対応力向上のための支援
（認知症カフェ、家族会、サポーター養成講座）
 - ・相談支援体制構築（認知症初期集中支援事業他）

報告者氏名： 岡本 舞

市川町 認知症施策全体図

○認知症対策の推進

◎施策の展開方向

①普及・啓発活動の推進…一般住民をはじめ認知症の正しい知識の普及啓発

②相談体制の充実…本人の状態に応じた適切な支援を行えるような体制整備

③認知症支援サービスの充実

・介護者への支援…家族会を開催し情報交換を行い、日頃の悩みや不安を解消

・認知症高齢者等の見守り・SOSネットワークの構築…行方不明になる可能性のある方に事前登録して、日頃から地域で見守り、行方不明になった際にすみやかに発見活動を開始

・ボランティアの育成…認知症サポーター養成講座の実施、やすらぎボランティアを派遣し、家族の介護疲れをやわらげる一助として支援

④認知症の予防対策の推進

・認知症予防を目的としたプログラムの推進…予防を目的にしたプログラムの導入を検討し、認知症を推定させない工夫を図る

・認知症地域支援推進員の配置…地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務を行う

・認知症初期集中支援チームの設置…認知症の人やその家族に早期に関わるチームを配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築

やすらぎボランティア活動について

○事業概要

- やすらぎボランティアは65歳以上の認知傾向にある方を対象に、やすらぎ支援員(ボランティア活動登録者)が、話し相手として訪問。訪問は1回2時間まで、月8時間までとしている。本人の支援、家族の介護疲れをやわらげる一助として取り組みを行っている。
- 今年度はやすらぎボランティア養成講座とボランティア登録者の交流会を開催した。
- やすらぎボランティア要請講座は1回目に認知症サポーター養成講座の開催、2回目に接し方のポイント・傾聴の仕方についての説明を行った。
- 交流会はやすらぎボランティアをしているボランティアさんを対象に悩みや不安な
ど他の支援員と情報交換し、不安を解消し支援員のモチベーションの維持向上を図り、今後の活動に生かしてもらえよう開催した。

○事業評価

- やすらぎボランティア要請講座については、出席者はいらっしゃるもボランティア登録される方は少なかった。認知症の知識については関心あるも、実際の活動となると難しい思いがあるのではないかと伺えた。
- 交流会については活動時の情報交換を行い、自身の工夫していることや、不安や心配になったことについて話し合い共有ができた。普段一人で活動されているため、ボランティアさん同士意気投合され、話しが弾まれていた。

- 最後に・・・

高齢者が増える中、専門職の支援者だけでは支援する事も限られてくる。そのため、多職種、地域住民さん含め認知症に関心のある人を増やすことが必要となってきた。認知症サポーターさんややすらぎボランティアさんは貴重な存在である。

認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、地域住民さんの理解や協力が不可欠となってきます。地域住民さんとつながりを持ち、課題などを探り、必要な支援ができるように取り組んでいきたい。